

会議録（要旨）

会議の名称	瑞穂町第 10 期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画専門分科会（第 1 回）
開催日時	令和 8 年 7 月 8 日（水） 午後 1 時 15 分から午後 3 時 15 分まで
開催場所	瑞穂町役場 1 階ホール
出席者 （敬称略）	会 長 田中 育夫 副会長 原 隆寿 委 員 丸野 仁久 野口 英雄 長澤 陽子 粕谷 雅人 小野 芳久 坂本 孝輔 石井トモ子 宮坂 勝利 村田 朝子 植田 拓也（オンライン出席） 佐々木克治（代理出席）
欠席者	なし
事務局 説明者	高齢者福祉課長 工藤 洋介 地域包括ケア推進係長 千葉 愛 介護支援係長 鈴木 晃司 高齢者支援係長 宮崎ゆり恵 （株）グリーンエコ 児玉 健
議 題 （次 第）	1 開会 2 委員の委嘱・任命について 3 正副会長の選出について 4 議題 (1)第 9 期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の概要と現況について (2)第 10 期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の概要と進め方について (3)介護予防・日常生活圏域ニーズ調査・在宅介護実態調査結果（概要報告） (4)その他 5 次回分科会開催予定 6 閉 会
傍聴者数	2 人
配布資料	次第 資料 1 瑞穂町第 9 期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画進捗状況 資料 1-1 瑞穂町第 9 期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画進捗状況（調査票） 資料 2 第 10 期介護保険事業計画制度改正の概要 資料 3 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査 在宅介護実態調査結果報告書の要点 資料 4 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査 在宅介護実態調査結果報告書 概要 資料 瑞穂町第 9 期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画 資料 瑞穂町第 9 期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画 概要版 資料 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査 在宅介護実態調査 結果報告書 参考資料 瑞穂町地域保健福祉審議会条例及び施行規則 資料 第 10 期 高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画専門分科会委員名簿

会 議 内 容

1 開会

事務局より配布資料の確認

2 委員の委嘱・任命について

事務局より委嘱状及び辞令について説明

(委員及び事務局自己紹介)

3 正副会長の選出について

分科会委員からの推薦により 会長に田中 育夫委員 副会長に原 隆寿委員 と決定

(会長挨拶、副会長挨拶)

4 議題

(1)第 9 期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の概要と現況について

事務局より資料 1、資料 1-1 に沿って説明

質疑等

(植田委員)

事業計画進捗状況(調査票)の評価指標の区分について、1からいくつまでであるのか範囲を教えてください。また、令和6年から7年にかけて判定に大きな変化が見られないものが多いように思いますが、今後どのように取組を進めていくお考えでしょうか。

(事務局)

取組内容の進捗状況は1(検討)から5(目標達成)までの5段階、効果判定はA(想定以上の高い成果)からE(成果が得られなかった)までの段階評価とし、両者を組み合わせた評価マトリックス表を作成しています。

(工藤課長)

効果判定はA、B、Cが多いのですが、継続実施している事業が多いことが行政の特性であり、安定的な運営が大切と考えています。評価がやや低い項目もありますが、関係機関と連携しながら少しでも高い評価となるよう取り組んでまいります。

(粕谷委員)

資料1-1 調査票の18ページ「入退院に関する支援の充実」について、西多摩地域広域行政圏でのICT多職種連携研修によって支援の充実がどこまで図られたか伺いたい。また19ページ「急変時の対応に関する支援」について、ICT活用がどのように「本人の意思が尊重された適切な対応」につながるのか説明いただきたい。同じく19ページ「看取りに関する普及啓発」について、研修テーマが共倒れしない介護であったとのことで、看取りの普及啓発というテーマと合わないように感じるが、実際の研修内容がどのように看取りの普及啓発につながったのか伺いたい。

(事務局)

入退院支援については、西多摩医師会にご協力いただき、町内介護保険事業者のほぼ全てでICT多職種ネットワークの登録が完了しています。医療機関側でも一部で活用され、入

退院時に情報を申し送ることにICTが活用されています。研修については、共倒れしない介護というテーマの中で、看護師による看取りに関する内容や、実際に看取りを経験されたご家族による講話を行いました。

(粕谷委員)

14 ページ権利擁護事業の利用促進について、身寄りのない高齢者が社会的課題となる中、町長申立て及びそれに関する連携会議についても取組として記載してよいのではないかと思います。

(2)第10期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の概要と進め方について

事務局より資料2に沿って説明

質疑等

(小野委員)

瑞穂町が小規模市町村に当たるのか、また町の裁量がどこまで及ぶのか。また「生産性の向上」が介護保険の分野で何を指しているのか分かりにくいと感じました。

(工藤課長)

小規模市町村の該当性については、令和8年度のモデル事業が実施される段階であり、どこを小規模とするかはまだ決まっていないため明確にお答えできません。「包括的な支援体制」は従来の「重層的支援体制整備事業」とは別の仕組みのもので、子ども・障がい者・高齢者・低所得者の支援体制について行政の縦割りを低くすることを目指すものです。瑞穂町に合ったサービスについては、地域密着型サービスの整備やサービス見込量の検討で対応してまいります。

(事務局)

生産性向上は人材確保と合わせてどの市町村にとっても悩ましいテーマであり、基本的にはサービス提供を効率的に行うための方法という位置づけです。例えばヘルパーへのロボット導入等が挙げられますが、明確な答えとは言えず、皆で知恵を出している段階です。

(坂本委員)

身体介護はAIやICTの恩恵を受けづらい一方、生産性の向上につながりやすいのは負担の大きい事務作業（書類作成、ファイリング、実績報告の手渡し等）の電子化により生産性向上が期待できると考えています。

(宮坂委員)

災害派遣福祉チームについて、瑞穂町のチームが他自治体へ応援に行くためのチームという理解でよいか、また派遣先での支援内容について伺いたい。

(工藤課長)

災害時、在宅又は避難所で避難する高齢者・乳幼児・障がい者等への専門的支援のため、平時から福祉人材を登録し研修・訓練を実施するもので、派遣要請に応じて従事者が活動できるよう勤務先への配慮義務も設けられます。

(植田委員)

小規模市町村の特例地域サービスの枠について瑞穂町が該当するか、また地域分類（中山間・人口減少地域／大都市部／一般市等）について瑞穂町がどこに当てはまるか伺いたい。

(事務局)

小規模の基準は現時点で未確定で、東京都と各市町村が判断していくものと思われます。

(工藤課長)

瑞穂町は東京都区部近郊の多摩地域であり、2040年に向け高齢者人口が増加し、その後ピークアウトしていく見込みのため、中山間・人口減少地域には該当しないのではないかと考えています。3類型自体が今後細分化される可能性もあり、注視してまいります。

(植田委員)

保険者ビジョンの設定について、サービス提供の充実という観点だけでなく、高齢者にとどのような生活をしていただきたいかという視点を踏まえて整理いただきたい。

(3)介護予防・日常生活圏域ニーズ調査・在宅介護実態調査結果(概要報告)

事務局より資料 3、資料 4 に沿って説明

質疑等

(植田委員)

地域活動の担い手としての参加意向について、調査票に該当項目があるか伺いたい。

(事務局)

報告書本編 70 ページに記載があり、「担い手として参加してみたい」との回答は既に参加している方も含め 3 割以上です。

(植田委員)

この割合は一般的な水準と比べて高く、瑞穂町の強みと言える部分だと思います。他の調査で参加しない理由は「情報が届いていない」が半数近くあり、周知の戦略が重要と考えます。「新しい認知症観」をいかに広めていくかが大切で、認知症予防活動と認知症施策を組み合わせて進めることで、効率的・効果的な取組が可能ではないかと思います。

(4)その他

質疑等

(原副会長)

今回の制度改正は、地域類型を定めて個別対応を可能とする点で画期的な改正であると理解している。瑞穂町の地域区分の該当性、施設・事業者の登録制移行に伴う都道府県の関与強化、人材確保等について、町の受け止めに伺いたい。

また、身寄りのない高齢者への日常生活支援について、体制強化のための支援の必要性についても伺いたい。

(工藤課長)

瑞穂町は 2040 年に向けて高齢者人口・介護ニーズの増加が見込まれるため、供給体制の過不足、介護サービス提供に係る物的・人的資源の偏在を見据えた中期的な計画づくりが必要と考えています。住宅型有料老人ホームの登録制導入により利用者保護やサービスの質の向上が見込めると考えています。

身寄りのない高齢者への対応については、社会福祉協議会や地域包括支援センターと連携しながら支援を継続しており、民法上の課題があるため、今後の制度見直しの施行状況を注視しつつ、既存事業を活用して対応してまいります。

(植田委員)

今回の計画は 3 年間の計画だが、2040 年を見据えた長期的視点を踏まえ、最初の 3 年間で何をすべきか、その後の期で何をすべきかを整理いただきたい。また、状況に応じて計画を見直す可能性があることも含めて整理いただきたい。

5 次回分科会開催予定

事務局から説明

6 閉会

(会長挨拶)